

第122回運営委員会概要 12月19日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
- ◆出席運営委員：新野・佐藤(正)・高橋(武)・武本(和)・前田運営委員・・・5名  
(欠席：石坂・川口・三宮・竹内・徳永委員)
- ◆出席委員：桑原委員
- ◆オブザーバー：規制庁／飯野所長・山崎防災専門官・熊谷保安検査官  
エネ庁／磯部所長  
柏崎市／野澤主任  
東電／西田技術担当・佐野課長・山本主任
- ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事 石黒主事

---

次回以降定例会内容について(1月・2月情報共有会議・3月)

〈議長〉まずは、2月の情報共有会議の内容について、タイムスケジュールを一昨年のやり方に倣ってはどうかという意見があった。

一昨年は、前回以降の動きに続き、先に、委員が所信表明を一人約3分で述べ、次に国や県、市長、村長、東京電力のそれぞれの方からお話をいただくという流れだった。

昨年は、オブザーバーの方々から先にお話をいただき、次に委員の所信表明という順番だったが、委員とオブザーバーの話がうまくかみあわなかったという経緯があった。

今年は、まずは委員所信表明を聞いていただき、それに受け答えすることは難しいと思うが、できるだけ委員の思いに添うような形で、話の中に織り込んでいただければ尚良いだろう、という運営委員からの要望があった。

1月の定例会では、国や企業からいろいろな新しい情報がたくさん出てくる時期になると思われるので、2月の情報会議の議題はまだ読めないが、1月定例会では、2月の会議をふまえ、リハーサルの意味もこめて「年頭にあたり、一番関心のあること」を委員一人ひとりから述べてもらい、それを受けて運営委員会で2月の議題を絞っていきたいと思うがどうか。

(委員 了解)

〈議長〉3月、4月でこの会の1年間のまとめとなるが、イメージとしてどのようなことが話題になるか。

〈委員〉防災と断層についての報告がいろいろ出てくると思うので、それらが問題になるのではないか。

〈議長〉その問題と、この会の年度末、締めともなるのでどのように集約して、自分達の活動を次につなげるのかという議論もしながら進めていきたいと思う。

(委員 了解)

〈委員〉みんなが大きな関心をもっている防災の件。国からの防災の基本についての報告は1月の定例会に間に合うか。

〈規制庁〉3月18日までに地域防災計画を作ることは法律で決まっている。ただその際の、判断基準となるものを国がまだ示せていない。EAL、OIL という発電所の放射線基準の検討会が年内にあと2回行われる予定。そのあとに防災指針の改定が行われる。1月9日の定例会までに決まっていることはお知らせしたい。

〈委員〉今、日本国内で原発下の断層について議論がなされている。そもそもの設置許可、バックチェックなど手続きが問題だと思っている。新聞報道をみると、バックチェックで地下の断層をなぜ議論しなかったかということ、経済産業大臣が検討項目に入っていなかったというのが保安院の回答だった。なぜこういうことが今になって問題になるのか。そこは意見として指摘していきたい。

〈議長〉住民として意見を言うことで、会議の中で問題点を共有することが非常に重要。

〈東京電力〉1月の定例会時に、前回定例会での質問の回答として、ウォーターロードについて、少し説明をさせていただきたい。

〈議長〉前回からの動きの中で、追加項目として説明をお願いしたい。

(委員 了解)

(東京電力 了解)

〈規制庁〉EAL、OIL のことについて少し説明させていただきたい。

〈議長〉防災についての意見交換の冒頭で話をさせていただくことではどうか。

(委員了解)

(規制庁 了解)

〈事務局〉前回定例会で、柏崎市から提出された「市町村による原子力安全対策に関する研究会」の資料を、委員全員に資料配布してはどうかという意見が寄せられた。運営委員会で検討をお願いしたい。

〈議長〉柏崎市としての発表はあったのだろうか。

〈柏崎市〉市はオブザーバーの立場として参加しており、市としての発表はない。柏崎刈羽原発の周辺市町村が、認識を共通にするための研究会であり資料などは長岡市のHPに掲載されている。まとめたものは暫定版であり、成果としてまとめ、これで収束している。

当然、県としてもこれをひとつの素材として新たな計画を考えていくと思う。

〈議長〉HPで出力できない方に、必要な部分を事務局に言って、いただいたほうがいいのか。

(委員 了解)

## 【決定事項】

〈1月定例会タイムスケジュール (案)〉

- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 18:30～19:30 | 前回からの動き (東京電力、規制庁、エネ庁、行政)     |
| 19:30～20:15 | 年頭にあたり関心のある事柄を委員から表明 (委員一人2分) |
| 20:15～21:00 | 防災について要望及び意見交換、その他            |

- 2月6日（水）情報共有会議について  
柏崎市産業文化会館にて15時より開始  
その後、18時30分より懇親会を行う。

〈2月情報共有会議タイムスケジュール（案）〉

- 15:00～15:30 前回からの動き（東京電力、規制庁、エネ庁、行政）
- 15:30～16:30 委員所信表明（一人3分）
- 16:30～17:30 オブザーバーから所感表明（各8分程度）
- 17:30～18:00 まとめ

- 1月23日（水）運営委員会 18:30～

#### 視点57号内容について（第113回定例会分）

- ・事務局案を委員で確認
- ・質問と意見を簡潔にまとめてさらに改善を行う
- ・規制庁が発表した放射性物質の拡散シミュレーション試算図を添付する

#### その他

〈新野議長〉以前お話した、滋賀県主催の原子力防災シンポジウムへ出席し、地域の会の活動についてお話をさせていただきました。

その後、原子力委員会からも、会の活動について話を聞かせてほしいという依頼を急遽いただきました。県、市、事務局とも相談した結果、お引き受けし、会の活動を紹介してきた。

原子力委員会には、急遽、高橋武運営委員さんにも同席していただきました。客観的な立場で見ていただいたことはよかったです。

参加させていただくときには、地域の会の委員の皆さんの活動を、そのまま伝えることをいつも心がけている。

いつか時間があるときに、このようなことも地域の会で報告し、話したいと思っている。

〈高橋委員〉フランスの地域情報委員会（CLI）という会の活動を聞かせていただいた。

CLIの活動も、地域の会もそれほど変わらない活動をしていると感じた。

国の原子力委員会が懸念しているのは、国民の信頼をどう担保していくか、現在の情勢についての部分。どういう総合コミュニケーションをしていくかが大切だと感じている。日本国内にも、地域の会のような会がもっとできるといいと感じた。

#### 次回日程について

- 第115回定例会 1月9日（水）18:30～
- 第123回運営委員会 1月23日（水）18:30～